

システム間連携ツール によるリポジトリの展開

名古屋大学情報推進部 棚橋 是之
tanahashi<AT>nul.nagoya-u.ac.jp

きょうの内容

- ① 学術機関リポジトリのための連携ツールの開発
 - 1) 著者名解決ツール
 - 2) メタデータ変換システム
- ② 学術機関リポジトリをプラットフォームとする電子出版システムの開発
- ③ SNSの運用開始

著者名解決ツールの開発

著者名解決ツールとは

複数の情報源を、著者名を介して結びつけるWebサービス



- * 検索ルールの工夫
- * ナレッジベースの構築

著者名解決ツールの概要



検索ルール工夫

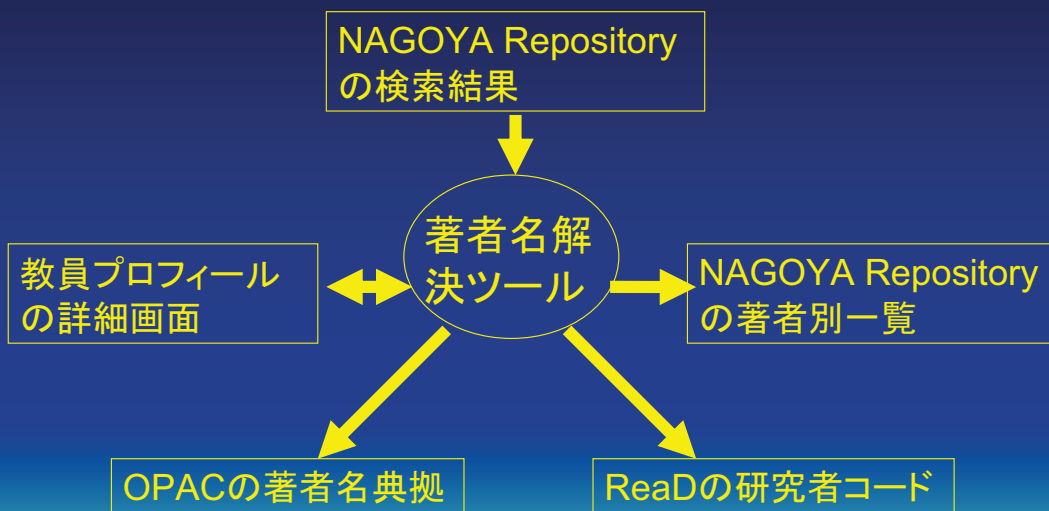
- * ローマ字表記のゆれの許容
- * 漢字における, 新旧字体双方からの検索
- * 姓名のスペースを空けなくとも検索可能

ナレッジベースの内容

full_name: 伊藤 義人
 department: 大学院工学研究科・工学部 社会基盤工学専攻
 author_names:
 - 伊藤 義人
 - イトウ ヨシト
 - Itoh Yoshito
 - Ito Yoshito
 - Itoh Y
 - Ito Y
 -
 location_id: ir
 key: "伊藤 義人"
 -
 location_id: prof
 key: 0008/0000813
 -
 location_id: read
 key: 1000024142
 -
 location_id: opac
 Key: AU00091824



著者名解決ツールのシステム間連携図



著者名解決ツールの現況

* 名古屋大学の教員・研究員約1700名について登録を完了

* 上記以外の者については、コンテンツ登録時に順次登録を行う(登録済件数:約3000件)

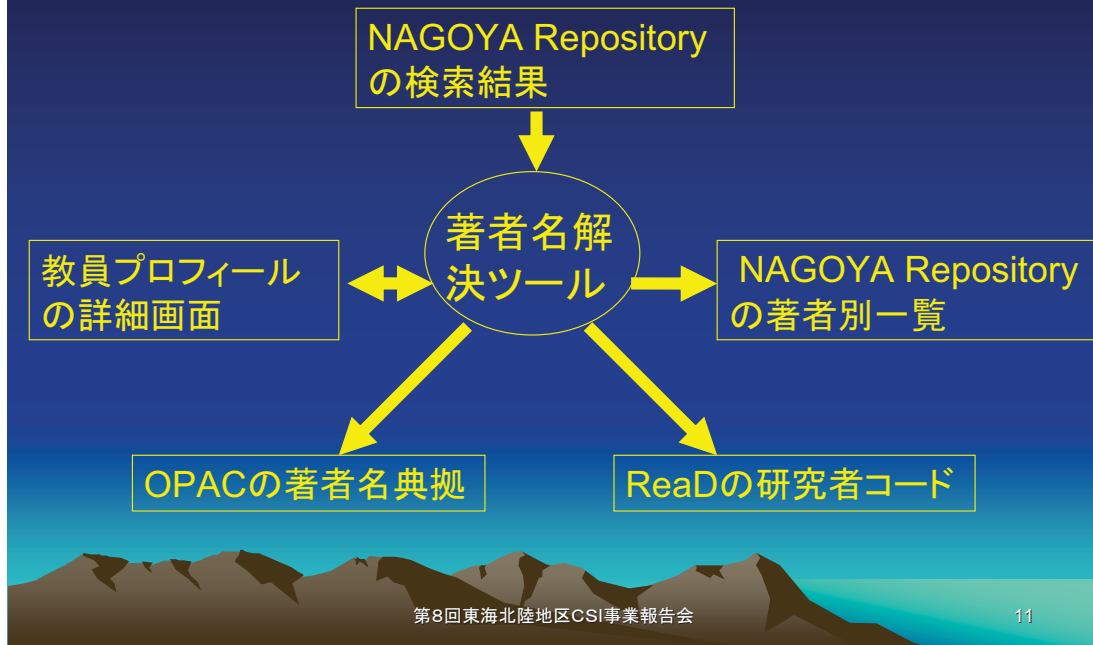


* 著者名解決ツールからNAGOYA Repositoryへのアクセスが増加

著者名解決ツールからNAGOYA Repositoryへの参照数の推移



著者名解決ツールのシステム間連携 の実例



学術機関リポジトリの将来 - NAGOYA Repository - Mozilla Firefox

URL: http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/dspace/handle/2237/9398

名古屋大学学術機関リポジトリ

NAGOYA Repository

Search: Go

Advanced Search

Home

Browse: Communities & Collections, Titles, Authors, By Date

Help

NAGOYA Repository >
 F100 附属図書館 >
 F100e 会議資料 >
 2.国内会議 >

この記事にリンクをする際のURIは、<http://hdl.handle.net/2237/9398>

Title: 学術機関リポジトリの将来
 Authors: 伊藤, 義人 [Author Link](#)
 Issue Date: 30-Nov-2007
 Description: 第5回東海地区CSI事業報告会(学術機関リポジトリの今後 2007年11月30日 於:名古屋大学附属図書館)における発表資料
 URI: <http://hdl.handle.net/2237/9398>
 Appears in Collections: [2.国内会議](#)

File	Description	Size	Format
20071130_CSI_Itoh.pdf		949Kb	Adobe PDF View/Open

Show full item record

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 12

伊藤 義人 - Authority Directory System - Mozilla Firefox

http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/resolve/result/?cl=i&cl=prof&cl=opac&cl=read&ar=伊藤 義人

Name Authority Resolution system
Nagoya University Library

検索条件: 伊藤 義人 検索

NAGOYA Repository
 名古屋大学教員プロフィール / Nagoya University Profiles of Researchers
 名古屋大学蔵書検索 / NAGOYA Univ. Library OPAC
 ReadD (Directory Database of Research and Development Activities)

1件の検索結果があります。

伊藤 義人 (編集) 伊藤 義人 / イト ヨシト / itoh yoshito / 所属: 大学院工学研究科・工学部 社会基盤工学専攻 工学@土木工学@構造工学・地盤工学, 環境情報システム, 耐震構造, 衝撃工学

- NAGOYA Repositoryへのリンクがあります。
- 名古屋大学教員プロフィール / Nagoya University Profiles of Researchers へのリンクがあります。
- ReadD (Directory Database of Research and Development Activities) へのリンクがあります。
- 名古屋大学蔵書検索 / NAGOYA Univ. Library OPACへのリンクがあります。

Programmed by Knowledge Science Co., Ltd. 2007-2008

完了

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 13

Search Results : NAGOYA Repository - Mozilla Firefox

http://ir.nul.nagoya-u.ac.jp/dspace/simple-search?query="伊藤 義人" itoh yoshito"

名古屋大学学術機関リポジトリ

NAGOYA Repository

Search: Go
Advanced Search

Home
Communities & Collections
Titles
Authors
By Date
Help

NAGOYA Repository > 検索

Search: All-of-DSpace
for "伊藤 義人" itoh yoshito Go

Results 1-10 of 62.

ヒットした記事:

Date of Issue	Title	Authors
19-Dec-2006	Institutional Repository in Japan [slide]	Itoh, Yoshito; 伊藤 義人
Aug-2005	Lifecycle Analysis of Bridges Considering Longevity of Bridge and Severe Earthquakes	伊藤 義人; Itoh, Yoshito; 坪内 佐織; Tsubouchi, Saori; Wada, M
Oct-2004	Lifecycle Assessment Considering Longevity of Bridge	坪内 佐織; Tsubouchi, Saori; 伊藤 義人; Itoh, Yoshito; Kim, In-Tae
Apr-2002	A Cooperative Web-based Database for Benchmark Test of Structural Numerical Analysis under Severe Earthquake Motions	Ishiyama, Takahiro; 伊藤 義人; Itoh, Yoshito

完了

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 14

研究者プロフィール - Mozilla Firefox

http://kenpro.mynu.jp/Profiles/0008/000813/profil.html

更新日: 2008/11/04

[英語ページへ]



大学院工学研究科・工学部 社会基盤工学専攻

教授 **伊藤 義人**
男 ITOH YOSHITO
[Author Link](#)

■ 学歴

1975年 名古屋大学工学部土木工学
1977年 名古屋大学大学院工学研究科土木工学修士課程

■ 取得学位

- 工学博士 (名古屋大学)
- 工学修士 (名古屋大学)

■ 現在の専門分野

- 工学@土木工学@構造工学・地震工学・維持管理工学
- 環境情報システム
- 耐震構造
- 衝撃工学

■ 現在の研究課題

環境負荷を考慮した社会基盤施設整備に関する研究
キーワード: 環境負荷, 社会基盤

完了

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 15

ReaD 研究者(詳細情報) - Mozilla Firefox

http://read.jst.go.jp/public/cs_ksh_008EventAction.do?action4=event&lang_act4=J&judge_act4=2&knkysh

研究開発支援総合ディレクトリ ReaD は産学官連携、研究成果の活用、および研究開発の促進に資することを目的として、国内の大学・公的研究機関等に関する機関情報、研究者情報、研究課題情報、研究資源情報を網羅的に収集・提供しているサイトです。

Directory Database of Research and Development Activities

伊藤 義人

更新日 2008年07月16日

氏名 **伊藤 義人**
イトウ ヨシト
ITOH Yoshito

所属機関名、所属学署名、職名

- 名古屋大学 大学院工学研究科 社会基盤工学専攻
大学院工学研究科・工学部 社会基盤工学専攻
教授、その他、館長

電話番号 [Redacted]

FAX番号 [Redacted]

研究分野 構造工学・地震工学・維持管理工学、土木環境システム

研究分野を表すキーワード 鋼構造、耐震、耐力、耐久性、鋼橋、防錆、衝撃、ライフサイクルアナリシス、環境情報、環境負荷

研究内容

- 環境負荷を考慮した社会基盤施設整備に関する研究
環境負荷, 社会基盤
研究分野: 土木環境システム
(機関内共同研究)
- 構造部材・材料の長期劣化特性に関する研究
構造部材
研究分野: 構造工学, 地震工学, 維持管理工学

完了

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 16

辞典詳細 - Mozilla Firefox

http://opac.nagoya-u.ac.jp/cgi-bin/exec.cgi?iatydet.cgi?LANG=japanese&U_CHARSET=utf-8&MI

辞典詳細

●書誌
 【該当件数】: 12件

No. 書誌事項 12件中 1-12件を表示:1

- Quick BASIC実用グラフィックス: グラフィックサブルーチンライブラリーQB-XYPLOT / 伊藤義人, 坂巻和男著. -- 山海堂, 1991.3.
- 衝撃荷重を受ける構造物の定着構造に関する研究 / 伊藤義人[ほか著] -- [出版者不明], 1996.3. -- (科学研究費補助金(一般研究)研究成果報告書: 平成7年度).
- 鋼構造物の耐力: 耐震実験情報システムの開発研究 / 伊藤義人著. -- [出版者不明], 1999.3.
- MS/PC-FORTRAN版グラフィックス・サブルーチン / 伊藤義人, 坂巻和男著. -- 日刊工業新聞社, 1987.11.
- N88-BASIC版グラフィックス・サブルーチン / 伊藤義人, 坂巻和男著. -- 日刊工業新聞社, 1987.11.
- Stability and ductility of steel structures / edited by Tsutomu Usami & Yoshito Itoh. -- 1st ed. -- Elsevier, 1998.
- 交通基盤施設のライフサイクルアナリシスに関する研究 / 伊藤義人[ほか著] -- [出版者不明], 2002.3.
- 車両衝突を受ける防護柵の性能評価に関するシミュレーション手法の開発に関する研究 / 伊藤義人[ほか著] -- [出版者不明], 2002.3.
- 電子図書館と電子ジャーナル: 学術コミュニケーションはどう変わるか / 櫻岸正光 [ほか] 著. -- 丸善, 2004.5. -- (情報学シリーズ: 8).
- なごや平和公園の自然 / 伊藤義人著. -- [?] - 2007. -- なごや平和公園自然観察会, 2005.1.
- 環境促進実験に基づく交通基盤施設のライフサイクルアナリシスに関する研究 / 伊藤義人 [ほか著] -- [出版者不明], 2006.3.
- Proceedings of the first International Conference on Advances in Experimental Structural Engineering, July 19-21, 2005, Nagoya, Japan: AESE 2005 / edited by Y. Itoh and T. Aoki. -- v. 1, v. 2. -- Ichiryusha, c2005.

.....

●著者名<AU00091824>

統一標目形: 伊藤 義人[伊トウ, ヨシト]

から見よ参照形: Itoh, Yoshito

▲ページの先頭へ

完了

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 17

author を変更 | Django サイト管理 - Mozilla Firefox

http://infonul.nagoya-u.ac.jp/resolve/admin/resolve/author/79/

Django 管理サイト

ようこそ resolve.ドキュメント / パスワードの変更 / ログアウト
 ホーム > Authors > 伊藤 義人

author を変更

● 履歴

著者氏名: 伊藤 義人
 所属学部: 大学院工学研究科・工学部

Keywords

Location	識別子
<input type="text" value="NAGOYA Repository"/> <input type="button" value="Add Another"/>	伊藤 義人" itoh yoshito"
<input type="text" value="名古屋大学教員プロフィール / Nagoya University Profiles of Researchers"/> <input type="button" value="Add Another"/>	0008/0000813
<input type="text" value="ResD(Directory Database of Research and Development Activities)"/> <input type="button" value="Add Another"/>	1000024142
<input type="text" value="名古屋大学蔵書検索 / NAGOYA Univ. Library OPAC"/> <input type="button" value="Add Another"/>	AU00091824
<input type="text" value="-----"/> <input type="button" value="Add Another"/>	

Search_names

完了

第8回東海北陸地区CSI事業報告会 18

メタデータ変換システムの開発

メタデータ変換システムとは

- * あるメタデータの形式を別のメタデータ形式へ簡易に変換するシステム。
 - CSV形式→ダブリンコア形式
 - Bフォーマット→ダブリンコア形式
- * 小さなモジュールを組み合わせることで、変換することが可能。
- * モジュールを自作して組み込むことができるため、汎用性が高い。

メタデータ変換システムのしくみ



21

ソースコードの例

```
from kconv import run_yaml
run_yaml("""
- module: kconv.lib.bformat.BFormatReader
  filename: bformatsample.txt

# uncomment this line if you like
- module: kconv.field.Flatten

- module: kconv.text.CSVWriter
  fields:
  - B.TR
  - B.PUB
  - A.AL
  - BH.LNAME
""")
```

第8回東海北陸地区CSI事業報告会

22

今後の開発予定事項

- * Webサービス化
- * GUI化
- * モジュールの整備

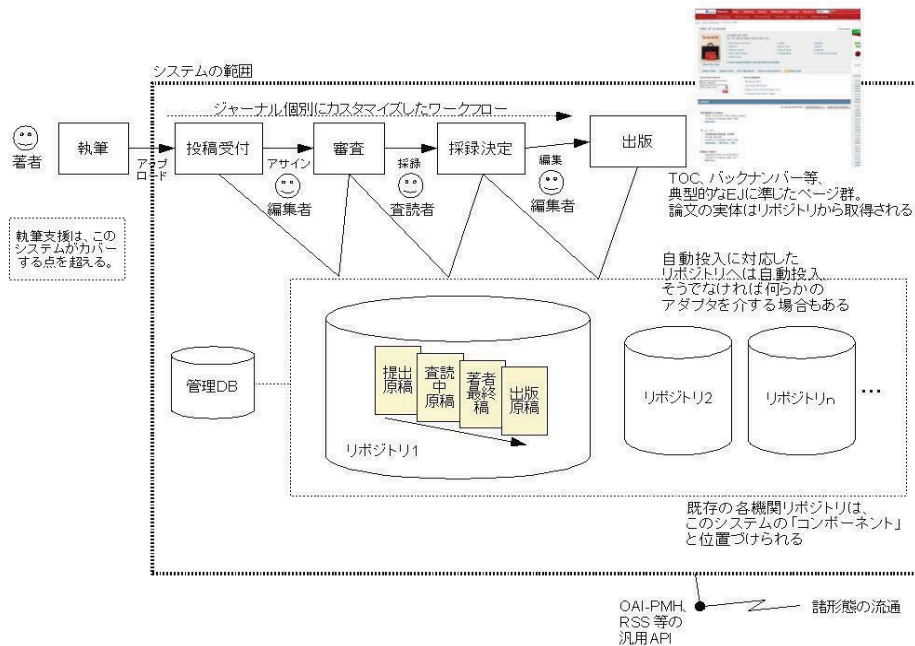
学術機関リポジトリをプラットフォーム とする電子出版システムの開発

目的

- * 学術機関リポジトリ群をプラットフォームとする電子出版システムを構築し、論文投稿とリポジトリ登録を一元化する。
- * 既存の学術機関リポジトリを基盤とすることで導入・運用コストを抑え、電子出版を普及させる。

⇒ 国内の学術コンテンツが自ずと学術機関リポジトリに蓄積・公開される。

機関リポジトリと電子出版の連携



OJS (Online Journal Systems)とは

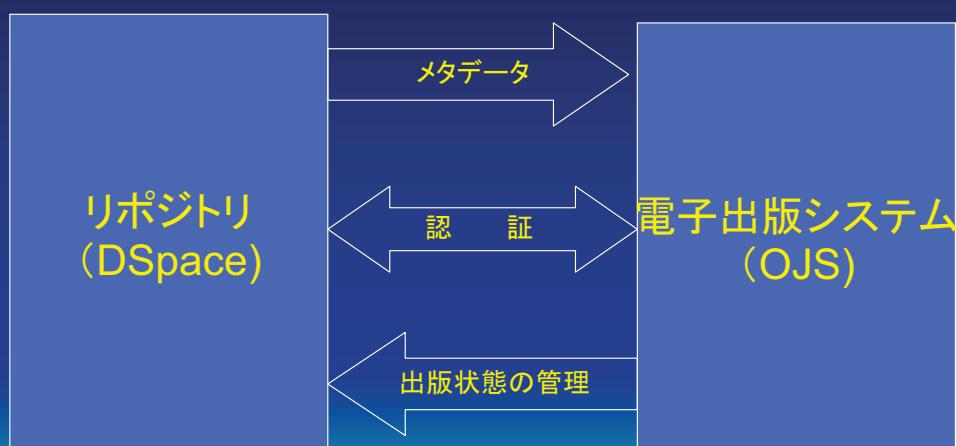
- * Public Knowledge Projectが開発した, オープンソースの電子編集・出版システム
- * 投稿→受付→査読→編集→出版といった一連の過程をカバー
- * 現在, 世界で約1400誌(10言語)以上が利用

<参照>

<http://pkp.sfu.ca/ojs>

<http://www.wul.waseda.ac.jp/ir/epubs/>

リポジトリとOJSとの連携に関するAPI



今後の予定

* 今年度はメタデータ交換部分のAPIを実装予定

* 「名古屋大学附属図書館研究年報」を対象に実証実験

その他の事例

JISC (The Joint Information Systems Committee) のRIOJA (Repository Interface for Overlaid Journal Archives) プロジェクト (2007年3月～2008年6月)

- * eprintsとOJSを連携したシステム
- * RIOJAでは、OJSとArXivとの連携について実証実験
- * RIOJAとの連携を模索中

<参照>

<http://www.ucl.ac.uk/lis/rioja/>

<http://current.ndl.go.jp/node/7854>

SNSの運用開始

SNSの設置目的

東海地区各機関の実務担当者の相互連絡体制の整備

- ・各機関におけるコンテンツの収集戦略
- ・著作権処理
- ・メタデータ作成
- etc

- ・知識・意見の交換を行うことともに、地域・担当業務を越えた情報の共有を図る
- ・今まで面識が無かった人物と容易にコミュニケーションを図る

SNSの紹介

- * 名称: Lib-Link
- * 使用プログラム: OpenPNE v2.12.5
(オープンソースプログラム)
- * <http://lib-link.nul.nagoya-u.ac.jp/> からアクセス可能
- * ログインは登録してあるメールアドレスとパスワードから
- * 登録は招待制を採用



ログイン画面

SNSで何ができる？

- * 話題ごとにコミュニティを作成可能
- * コミュニティ中にトピックを作成して、自由に議論可能
- * コミュニティへの書込みは参加しないとできないが、閲覧は可能



コミュニティ画面



かきこみとそれに対するコメント



図書等のレビュー

招待の申込みは・・・

棚橋までメールをいただければ、招待メールを発送します。

メールアドレス：

tanahashi<AT>nul.nagoya-u.ac.jp

きょうの内容の一部は、下記において発表済み

* 棚橋是之, 山本哲也, 梶田健史, 次良丸章.
システム間連結のための著者名典拠ディレクトリ
の開発. 名古屋大学附属図書館研究年報.
vol.6, 2007, p.63-70.

<http://hdl.handle.net/2237/10113>

* 山本哲也. 汎用のデータ変換フレームワーク
を開発する. 名古屋大学附属図書館研究年報.
vol.6, 2007, p.71-79.

<http://hdl.handle.net/2237/10114>